

HEART NEWS

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>

Vol. 42



当センターで、2016年4月に導入した経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）の施行が本年（2020年）3月で200例に到達しました。約4年で、重篤な合併症なく200例に到達したのは偏に、当院スタッフと御紹介頂いた地域医療機関の先生方のご紹介のお蔭と感謝しています。今後も、気を引き締めて、大動脈弁狭窄症の治療に取り組んでいきたいと思ひます。

今年は、暖冬でしたが、日によって寒暖の差が激しく体調を崩される方も周りに多くおられました。地域医療機関の先生方は、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染が世界で拡大し、日本でも各地で被害が出ています。地域医療機関の先生方もその対応に苦慮されていることとお察しします。

循環器センターは、これまで、発作性心房細動に対する不整脈治療である心筋冷凍焼灼術（クライオアブレーション）、重症大動脈弁狭窄症に対するTAVI治療、急増する心不全に対して大阪心不全地域医療連携の会、閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術（PTSMA）、補助循環用ポンプカテーテル（インペラ IMPELLA）、低侵襲手術（MICS）、そして胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療など超高齢化、低侵襲治療などの時代のニーズに迅速に対応できるよう心がけてきました。2020年度は、カテーテルによる左心耳閉鎖システム（WATCHMAN）やロボット支援下心臓手術の開始予定です。

今回のVol.42では、2019年における循環器センターの実績をご案内いたします。今後も、これまで同様地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対しても最先端の循環器医療を身近に提供できるよう、なお一層努力したいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

循環器センターのHP (<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>) も是非閲覧ください。

大阪市立総合医療センター

循環器センター長

循環器内科部長

成子 隆彦

特集：循環器センター 2019年を振り返って

循環器内科の2019年の実績

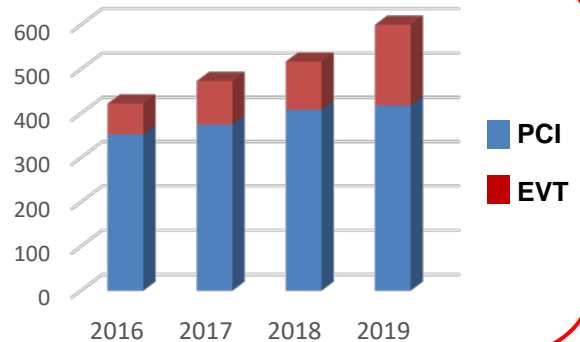
成子隆彦がセンター長として循環器センターを運営しています。地域医療機関のご協力のおかげでハートラインの件数も順調に増加しています。

今後も地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対してもレベルの高い医療を提供できるよう、なお一層努力したいと思っております。

心臓カテーテル部門

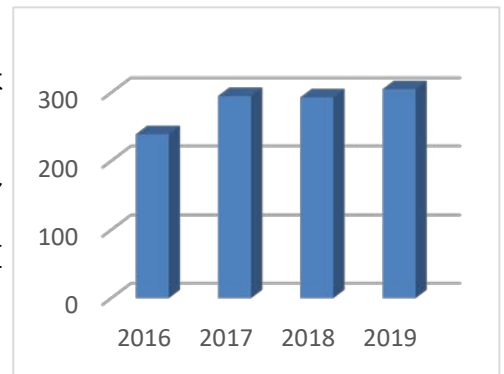
成子、松本、仲川、齋藤、加川、藤澤が中心となっており、心臓カテーテル治療(PCI)と下肢治療(EVT)の総数は、昨年より増加し、600例を超えました。

もちろん虚血評価目的のFFR(冠血流予備量比)を122例施行、心筋生検も51例施行しています。2016年4月より開始しました経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)も54例施行しています。また、閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術(PTSMA)を7例施行し良好な成績を収めています。



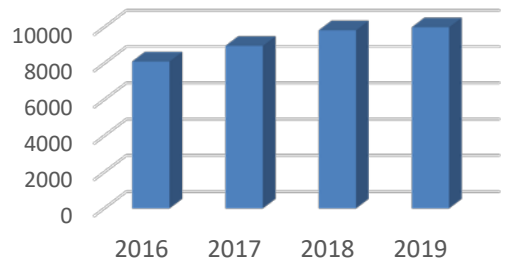
不整脈治療部門

占野、林、中達が中心となりアブレーション治療の件数は順調に増加し、305例行っています。中でも心房細動のアブレーション治療の件数は245例施行されました。心臓デバイスは、永久ペースメーカーや植え込み型除細動器、両室ペースングを含め計151例を施行し、150例を超えています。また皮下植え込み型除細動器は7例、リードレスペースメーカーの植え込みは、6例に植え込みを施行しました。実績の詳細は、別紙をご覧ください。



心臓超音波検査部門

阿部、松村、野村と生理検査技師が中心となって頑張ってくれました。昨年の成人心臓超音波検査数は、10114例に増加し、10000例を超えています。経食道エコー検査も457例と増加し、特に弁膜症については、他のどの施設よりも精度の高い診断を行っていると思っております。



循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	中達/占野 (ペースメーカー)	仲川	成子
午後	阿部	松村			成子
	占野(ペースメーカー)				林

地域初診外来

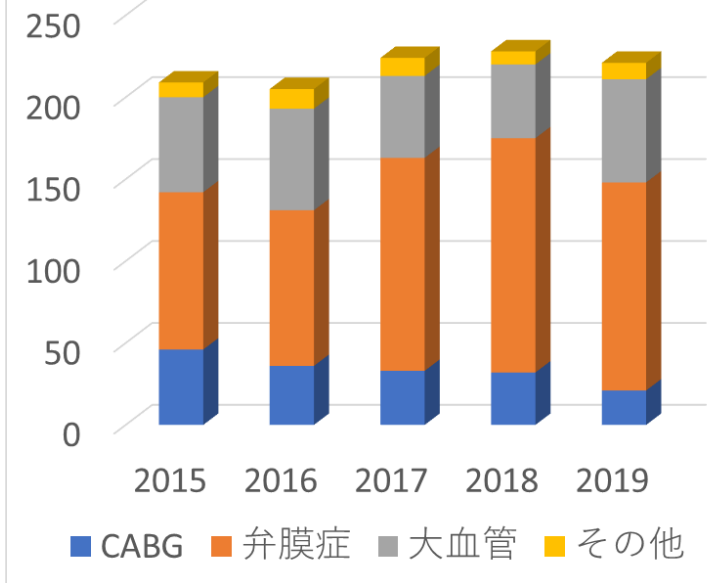
	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林(不整脈)
午後		齋藤(末梢動脈)	占野(不整脈)	仲川(肥大型心筋症)	松本(TAVI)

心臓血管外科の2019年の実績

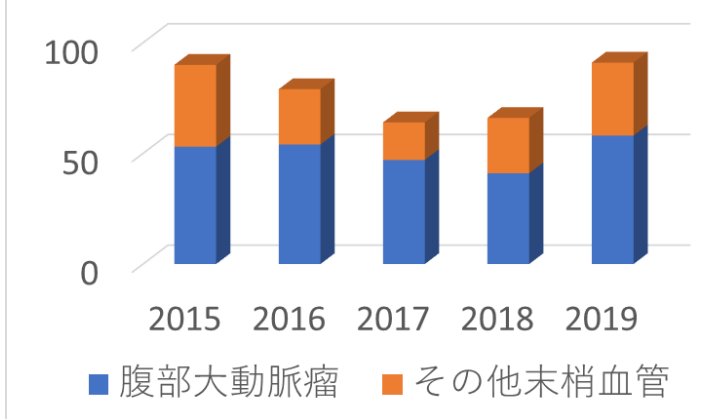
2019年の手術件数は例年通り200例以上の心大血管手術を行うことができました。低侵襲治療が浸透し、大動脈弁狭窄症は経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）を54例に行い、その他の疾患にも低侵襲手術（MICS）を24例行っております。2020年は、いよいよ**ロボット支援下心臓手術**の開始です。ハイブリッド手術室を利用して胸部・腹部大動脈瘤に対する**ステントグラフト**治療を36例に行っております。

高齢社会を反映してか、末梢血管に対する治療が増え、91例に行っています。

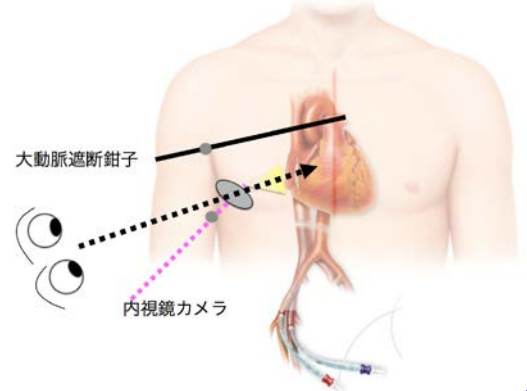
最近5年間 心臓大血管手術数



最近5年間 末梢血管手術数



内視鏡下心臓手術



手術支援ロボット



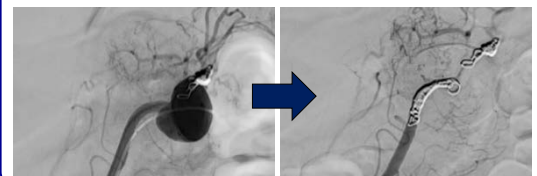
ダビンチ Xi サージカルシステム

da Vinci Surgery

内臓動脈瘤



脾動脈瘤に対するコイル塞栓術



心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	村上	阪口	下肢静脈瘤外来	尾藤
午後	青山	村上 (ロボット手術外来)	阪口	青山	尾藤

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。

今回は、1月に大阪で開催された日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）近畿地方会で齋藤医師が発表した際の写真（左）とその演題が優秀演題として表彰された際の写真（右）を掲載させていただきました。線維筋性異形成による腎動脈狭窄が原因の腎血管性高血圧例において経カテーテル的腎動脈形成術を施行した症例の発表でした。

当センターでは、臨床や研究の成果を院外に発信して広い意味で医療に貢献することができるように平素から努力しております。しかし、院外で学んだことを持ち帰って患者さんや地域医療のお役に立つことが最大の目標です。今後ともご支援をお願い申し上げます。

追記：本稿は3月1日に書いております。まだ現段階では、新型コロナウイルス問題の行く末は明らかではありません。しかし、一日も早く収束に向かうことを心から願っております。また、可能なかぎりの対策を講じるつもりでもおります。どうぞよろしくお願いいたします。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受け取ることができるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

**その他の場合は、御面倒ですが、
06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。**